

# 町内会広報

発行：玉川学園町内会 会長 服部知行

☎ 042-725-0438

✉ t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp

🌐 https://tamagawagakuen-chonaikai.net



玉川学園町内会

🔍 検索

## -特集- 2023年定期総会

本年度の玉川学園町内会の定期総会は、コロナ禍の完全な終息には至っていませんが、世の中の規制も緩和されつつある状況を鑑み、本来あるべき開催形式の一堂に会した対面による開催とし、5月28日(日曜日)午前10時から町田第五小学校体育館で町内会幹事及び一般の会員を合わせて105名の参加をいただきました。

### 対面総会 開催までの経緯

様々な状況を想定し、事前に回覧で出欠票・委任状または議決権行使書の提出をお願いし、総会に直接来られない会員の声を反映できるように配慮しました。

### 議決結果

投票結果 ▶ 会員総数:3,661名 / 投票総数:2,807票 / 投票率:76.7%

	賛成	反対	棄権・無効
第1号議案 2022年度事業報告	2,803	1	3
第2号議案 2022年度決算・会計報告	2,802	2	3
第3号議案 2023年度事業計画「方針と活動の進め方」	2,803	2	2
第4号議案 2023年度各部及び各地区の事業計画	2,803	1	3
第5号議案 2023年度予算	2,800	3	4
第6号議案 認可地縁団体への登録申請	2,788	10	9
第7号議案 会則・細則の改訂	2,772	22	13
第8号議案 非常用準備金の活用方法	2,760	29	18
第9号議案 2023年度会計監査の選出 信任		信任	不信任
・会計監査候補者 古川常男	2,752	1	54
・会計監査候補者 三宅俊剛	2,751	2	54

### 決議事項

#### ○2023年度事業計画「方針と活動の進め方」

事業計画と「方針と活動の進め方」は町内会活動基本を定めたものです。下記参照。

#### ○2023年度各部及び地区の事業計画・2023年度予算

総務部は認可地縁団体への登録申請作業。町内会情報発信の迅速化に向けてLINEの本格運用。町内会60周年記念事業の実施。経理部は経理作業の効率化、予算の更なる健全化の検討。広報部は発信力のあるホームページを目指してホームページのリニューアル。町内会だより年10回発行、町内会広報134号発行、60周年記念冊子追補版の作成。防犯防災部は安心安全のまちづくりのための防災計画立案。防犯広報活動の推進、地域コミュニティとの連携強化。環境部は資源集積所の管理、資源回収事業の実施、善意の傘の運用、憩いの椅子の維持管理、建築協約の業者との窓口対応。コミュニティ部は前期に続き地域の活性化を目指す外部団体との協力連携、音楽会、クリスマス会、餅つき大会、ウォーキング等各種行事を実施。商店会と協賛して南口・北口の夏祭り等に参画。各地区は地区活性化事業の推進。それぞれの事業計画と一般会計予算、特別会計予算が提議され承認されました。

#### ○認可地縁団体への登録申請

認可地縁団体取得の主なメリットとして法人格となり社会的な信用を得ることができると同時に会長個人の負担軽減になります。総会で承認をいただきました。登録には2~3ヶ月かかる見込みです。

#### ○会則・細則の改訂

認可地縁団体に登録するために町田市の様式に合わせて改訂しました。

#### ○非常準備金の活用方法

現在の特別会計「非常用準備金」の中から「資源回収収益金(C)」を特別会計「防犯防災準備金」に組み替え、この「防犯防災準備金」から今年度は400万円を防犯防災関連費として予算を組むことが承認されました。

#### ○2023年度会計監査の選出

第6号議案が通りましたので、会則が変わり、会計監査は監査役となり2年任期。うち1名は1年任期とします。4月7日(金)選挙世話人代表、岩崎けい子様立ち合いの下で立候補者、推薦者を確認しました。総会で信任を得て、古川常男様と三宅俊剛様が選出されました。

#### ○外部会議体の活動報告及び計画

町田市町内会自治会連合会をはじめとする関連団体、さくらんぼホール、こすもす会館の活動報告と今年度の計画について説明がありました。

### 報告事項

#### ○2022年度事業報告

総務部は認可地縁団体への登録検討。LINEで情報発信の運用を開始。書面による定期総会の取りまとめ、年間を通じて各定期会議の各部議題の取りまとめとその他会議開催の準備等。経理部は予算の実施進捗状況の把握(四半期ごと)と幹事会での報告と来期予算策定の取りまとめ。広報部はホームページのリニューアルに向けて始動。「町内会だより」10回発行、「町内会広報」133号発行、町内会各種事業に対する広報活動、ホームページの管理運営。防犯防災部は防災計画立案と防災活動の推進。防犯・環境パトロール、各地区での防災訓練実施、街路灯の点検、街頭消火器の点検、防犯カメラ管理、わんわんパトロール事業の推進、総合防災訓練(在宅防災訓練)実施、防災体験学習の実施、東京防災学習セミナー・リモート開催。環境部は資源集積所の管理、資源回収事業の実施、善意の傘の運用、憩いの椅子の維持管理と補修を兼ねた子どもたちにペンキを塗ってもらうマイベンチづくりの取り組みを実施。建築協約の業者との窓口対応。コミュニティ部は外部団体との協力連携、商店会の夏祭りやクリスマスイベントに参加協力。青少年健全育成玉川学園委員会に参加し秋のこどもまつりで昔あそびを担当。地区社協と協力。気軽に本を借りてどこでも返せる きんじょの本棚を「こすもす会館」に設置。各地区は地区活性化事業について報告。

#### ○決算報告・会計監査報告

古川常男様と伊藤良雄様の会計監査により2022年度収支および財産管理について諸帳簿ならびに諸伝票に基づいて、詳細に監査したところいずれも正確かつ妥当であることが認められました。

## 2023年度事業計画

### 方針と活動の進め方

「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」の推進と「だれもが歩いて豊かな景観を楽しめるまち」を目指し、住民の声を行政に反映させるとともに、住みよい環境の整備、促進に努めます。

- (1) 防犯意識の高揚をはかり、防犯・環境パトロール隊の活動を推進し、安全・安心なまちづくりをめざします。
- (2) 防災意識の高揚をはかり、自主防災隊の活動を推進し、災害に強いまちづくりをめざします。
- (3) 「混ぜればこみ」「分ければ資源」廃棄物減量と資源物の活用に取り組み、循環型社会の推進をめざします。
- (4) 「広報」「町内会だより」および「ホームページ」を通じて、地域の情報を共有し、会員相互の連帯をすすめます。
- (5) 関係諸団体とも連携して、子どもから高齢者まで広く参加できる集いを企画実践し、交流を深めます。
- (6) 会員の高齢化、環境の変化など、地域社会が抱える課題の解決に向けた取り組みをすすめます。
- (7) 玉川学園町内会(第一地区~第八地区)の地区別活動推進による地域の活性化と近隣の絆の強化を図ります。
- (8) 玉川学園コミュニティバス推進委員会の中核として、会の運営に努めます。コミュニティバス(玉ちゃんバス)の運行に協力し、交通安全のモラル向上を目指して、啓発活動を展開します。
- (9) 玉川学園地区社会福祉協議会の運営を支援します。全ての住民が、地域の福祉課題を話し合い、助け合う活動を実践します。
- (10) 「こすもす会館」「さくらんぼホール」の運営について関係自治会と協働し、その中核として、両施設の円滑な運営に努め、広く会員の利用促進をはかり、地域コミュニティの場として寄与するよう努めます。
- (11) 町田市町内会・自治会連合会、玉川学園・南大谷地区協議会等の諸団体との情報交換を密にして、地域特有の課題に積極的に取り組んで住みやすい住宅地域としての発展をめざします。
- (12) 組織体制強化に備えて、「認可地縁団体」の取得に向けて作業を進めます。
- (13) 会員数の増加を目指し、地域活性化事業を活用して、具体的な検討をします。
- (14) 玉川学園町内会60周年記念事業を実施します。



### 会長挨拶

今年度の定期総会は4年ぶりの対面での開催とすることが出来ました。4月16日には事前説明会を開催し、また議決権行使書等でも出来るだけ多くの方のご意見が反映できるように配慮しました。昨年に今後の活動の課題として掲げた10の目標も着実に取組んでいく必要があります。これらの内、認可地縁団体への移行、非常用準備金の活用、町内会創立60周年事業は定期総会でご承認いただけましたので着実に実行して参ります。新しい時代へ向けた取り組みを通じて、町内会活動を活性化して行きたいと考えています。地域に数多くある諸団体の方々や少しでも町内会活動に関心がある方々に参加していただいて、進めて行きたいと思っております。町内会は、会員数の減少と役員の手不足という大きな課題を抱えています。いかに町内会活動を知ってもらい気軽に参加できる仕組みを作ることが出来るかが重要だと考え、会議のあり方やサポーター制度、LINE公式アカウントの導入などの工夫をしています。多くの方に町内会活動が有意義で楽しい場であることや、誰でも気軽にできる事を知っていただき、お勤め中の若い方、子育て中の方、仕事を退職された方などにも難しく考えずに少しでも興味を持って町内会活動に携わっていただきたいと思います。



会長 服部知行

# 玉川学園地区 自主防災隊からのメッセージ



## 玉川学園第一地区自主防災隊 隊長 岩崎 けい子

新型コロナウイルス感染症に翻弄された3年間が過ぎました。今年度は五類移行で規制緩和され本来の活動ができそうです。第一地区の会員数は564世帯、新築のお宅が目立つ中、会員数の横ばいは退会者が多い可能性があるからでしょうか。『災害時は一人も見逃さない全員無事』が合言葉の自主防災隊ですが、果たしてこのような状態で大丈夫だろうかと考えてしまいます。そこで今年度は各支部内(1支部を除く)一時(いつか)集合場所のミニ防災倉庫設置場所が支部の拠点であることを全世帯で知ることができるよう支部単位の活動を重視したく思います。第一歩は防災訓練の実施。各支部ごとの自主防災隊立ち上げ、そして更なる強化のために救護に携わる(医師、看護師、介護士、薬剤師、消防士、自衛官、警察官等)経験者(現役、元)をリスト化して協力体制を図る等、いざ!という時、動ける防災リーダーは必須です。全てはみなさまのご理解とご協力があっての活動です。地区の輪をひとつにして頑張りましょう。

## 玉川学園第二地区自主防災隊 隊長 下迫 亮治

第二地区は町内の真ん中であって、駅前や商店街が含まれ、また幼稚園、保育園、児童館等の施設にも隣接した多様性のある住宅地を形成しています。コロナ感染症の影響で、防災訓練も縮小を余儀なくされていましたが、今年度は「白いタオル出し」運動にあわせて、非常用の食材を使った「炊出し訓練」を一時集合場所「こども広場」で行うなど、住民が積極的に参加しお互い顔見知りになれるようなきっかけになればと考えています。大規模な災害が発生した時、かけ崩れや火災がどのように発生・拡大するのかを想定するのはなかなか難しいですが、少しでもできる範囲で住民の助け合いができるような体制にしていきたいと思えます。無線機、スタンドパイプ、発電機などの取り扱い、テント、簡易トイレ、担架の組立など普段の日常では経験しないことを若い世代を中心に実施したいと考えています。

## 玉川学園第三地区自主防災隊 隊長 遠江 義智

第三地区自主防災隊では、避難施設の広さや対応設備等に課題を感じ、自宅避難を呼びかけてきました。更に感震ブレイカーや家具転倒防止器具、消火器等設置にも取り組んできました。今年度もその呼びかけを引き続き行っていきます。尚、昨年第三地区自主防災計画を作成しました。今年度からはその計画に基づいた防災訓練を行います。特に、発災時の安否確認の為に「白いタオル出し」を行ってききましたが、今年度から白いタオルの代わりに「安否確認カード」を非会員のご家庭を含め第三地区全戸に配布いたします。これを使用して「安否確認カード出し」訓練を予定しています(門扉の関係や様々な理由から白いタオルの方がよいというご家庭は今まで通り白いタオルで大丈夫です)。是非ご理解の上ご参加ください。又、第三地区自主防災隊の今年度の目標として、非会員の方を含め避難訓練を実施したいと考えています。今年度もよろしくお願ひいたします。

## 玉川学園第四地区自主防災隊 隊長 松澤 武陽

第四地区の大きな課題は手狭な防災倉庫の増設です。現在の場所は地下に防火水槽、近くの駐車場空き地の地下にも雨水管があり両所とも増設できません。第四地区は避難施設の町五小を囲むような地域です。地区の防災拠点である防災倉庫の場所を一時集合場所とすると町五小への動線が悪くなってしまうこともあり、今年度は一時集合場所を町五小のきいろ門としました。近くにある4丁目児童公園の整備活用が可能なら倉庫増設ができるか検討していきたいと思えます。AED・心肺蘇生訓練は、毎年行いたいです。スタンドパイプ訓練は今年こそ、支部での訓練以外に地区全体で実施していきたいと考えています。他地区に学びながら、会員の防災意識を高め地域での声掛けをはじめ、発災時の行動が安全に実施できるよう命を守る取り組みを進めていきたいと思えます。

## 玉川学園第五地区自主防災隊 隊長 元木 昭一

最近の降雨は数十年に一度と言われる異常な降り方が毎年続いています。特に九州地域で被害にあわれた方にはお見舞い申し上げます。このような自然災害には、人間が防止できる災害は一つもありません。警戒予測がある程度できる台風や風水害や火山等では被害を少なくすることもできますが、これも対象地域の人々の受け取り方や避難状況に左右されます。避難することは恥ずかしいことではありません。災害時には自分の命は自分で守る、家族の命を守るこのことが一番大事なことを忘れてはいけません。第五地区の自主防災隊は、災害発生時には玉川学園第五地区の皆さんの被害を少しでも減少できるように、地域住民と共に消火や救出救護、拠点病院への搬送、避難誘導、給水給食の援助、避難施設の開設等を行うことになっています。しかしながら、当自主防災隊では、緊急性の高い活動部隊(消火、救出救護、避難誘導、搬送など)を率いるリーダークラスの人員が大幅に不足しています。対象となる世帯約1200世帯(町内会未加入を含め)をカバーするには絶対数がたりません。第五地区では毎月第3土曜日に、なかよし公園防災倉庫前に集合で10:00から防犯・環境パトロールを実施しています。この機会にぜひ参加してみませんか?

## 玉川学園第六地区自主防災隊 隊長 島倉 正美

第六地区の防災訓練「みんなの防災フェア」は、子どもから高齢者まで、楽しくかつ真剣に防災を学ぶ場になっています。というのは、すべての訓練が賞品付きの競技になっているからです。例えば、「AED・心肺蘇生」では、数人がチームとなり10分間リレーしながら取り組みます。終わるころには全員へとへとになっています。採点基準が公表されていて採点は消防署員が行います。防災フェアも含め防災訓練は毎年見直されています。例えば、安否確認訓練は、隣近所でお互いに安否を確認しあう形に変わっています。第六地区には、立ち止まらず(停滞せず)、常に工夫をもって前進するという気風があります。第六地区の自主防災隊は、成瀬台小・中学校避難施設運営会議の構成メンバーです。当運営会議による避難施設開設運営のためのマニュアル作りや開設訓練などの活動が認められて平成28年に東京防災隣組の認定団体に選ばれました。避難施設開設・運営マニュアルの改訂は今も進められています。当運営会議は、昨年「ひなん施設だより」という季刊誌も発行しています。ここにも同じような気風があるようです。

## 玉川学園第七地区自主防災隊 隊長 久恒 満寿子

自主防災隊長を務めて今年で3年になります。昨年は、マスク着用・アルコール消毒・密を避けながら、各支部長や防災委員、環境委員、自主防災隊役員、地区長、幹事が力を合わせて活動し、防災倉庫にある資機材の組み立て、使用方法を体験しました。11月、町田消防署の指導によるAED・心肺蘇生方法やスタンドパイプによる消火方法などの防災訓練を実施しました。訓練といえども、いざ機材を目の前にして訓練すると皆さん緊張しながら、真剣な表情で取り組んでいました。今年も昨年と同じように、何回も同じ事をくり返す訓練となりますが、確実に防災技術を身につけていきたいと思います。第七地区は、防災意識を高めて、「震災による被害を最小限に留める」「自らの命を守り、できたら近隣住民の命を守る」ことが大きな目標です。まずは、「自分の命は自分で守る」ことからスタートです。「自分の命を守る」にはどうしたら良いか?皆さんと考え、防災意識を高めていきたいと思います。今年一年間、皆さんと力を合わせて、活動を進めてまいります。経験のある諸先輩の元で、防災について勉強してまいります。

## 玉川学園第八地区自主防災隊 隊長 下山 洋一

第八地区自主防災隊では、本年度より町内会会員、非会員を問わず広く隊員を募り地域の防災リーダーとして新体制をスタートさせました。皆さんと一緒に、地区での防災学習等を通してスキルアップを図り災害に備えて参ります。災害時は何より皆さんのご協力が大きな力になります。普段より近所のコミュニケーションを大切にいただき、ハザードマップ等活用して、この地域を良く知り防災訓練や地区で開催する防災勉強会など積極的にご参加ください。第八地区は南大谷小・中学校が避難施設となっています。そのため南大谷町内会をはじめとする近隣自治会とも連携を図り、自主防災隊では避難施設の運営を行います。災害時に避難施設へ避難しなくても良いように、水・食料の備蓄ご自宅の耐震や転倒防止対策、火災を出さないなどを心がけていただき、大災害の発生が叫ばれる昨今備えをお願いいたします。

2023年度 役員・幹事		広報部部長		環境部部長		さくらんぼホール	
会長	服部 知行	部長	大賀 容子	部長	木村 彰男	専任幹事	岩崎 けい子
副会長	田代 敏行	部員	西崎 則江②	部員	渡辺 哲也	専任幹事	島田 万里子
副会長	古河 博	部員	島倉 正美⑥	部員	荒井 由美子	こすもす会館	
副会長	伊藤 宏	部員	小木曾 雄介	部員	堀田 和久	専任幹事	澤村 加奈子
総務部部長	田代 敏行	部員	江副 智恵子⑦	部員	平戸 伸之	専任幹事	山岡 かつ枝
部員	中田 勝①	部員	遠峰 秀樹⑤	部員	豊島 多江	会計監査	古川 常男
経理部部長	伊藤 宏	部員	防犯防災部部長 島倉 正美⑥	部員	コミュニティ部部長 古河 博	会計監査	三宅 俊剛
		部員	副部長 伊藤 英一⑧	部員	副部長 島田 恵子③		
		部員	部員 遠江 義智	部員	部員 川口 昌男		
		部員	部員 平野 友治	部員	部員 増田 倫代		
		部員	部員 渡辺 俊朗	部員	部員 寺沢 重己④		
		部員	部員 山田 勝美	部員	部員 浅沼 晴美		
				部員	部員 緒方 朋子		

※○の数字は地区長

**編集後記**  
「コロナ禍」となって3年が過ぎ、感染の恐れはまだまだあるものの以前の暮らしや町内会の各地区活動も戻ってきつつあります。9月には、1年遅れの発足60周年記念式典と記念コンサートを行います。少しでも私たちが暮らす町のできごとに目をむけていただければ幸いです。 広報部一同

ご質問、ご感想等は、お名前をご記入の上書面、FAXまたはメールで町内会事務所までお寄せください。尚、お電話での対応はお受けしていません。  
**玉川学園町内会「広報部」宛**  
〒194-0041 町田市玉川学園2-19-5  
FAX 042-725-0438  
メールアドレス t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp  
ホームページ 「玉川学園町内会」で検索

